

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

岐阜県 養老町

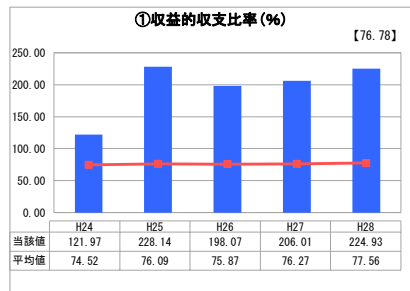
業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	7.38	1,600	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,054	72.29	415.74
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,202	15.00	146.80

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



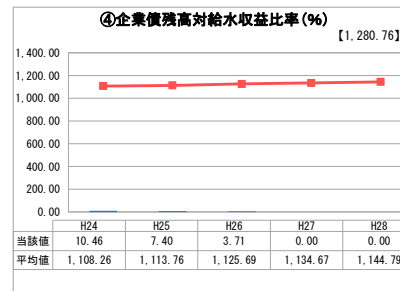
「単年度の収支」



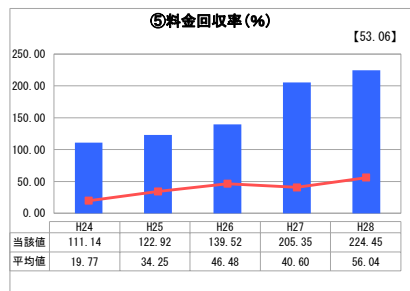
「累積欠損」



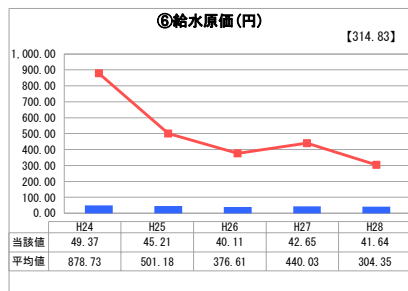
「支払能力」



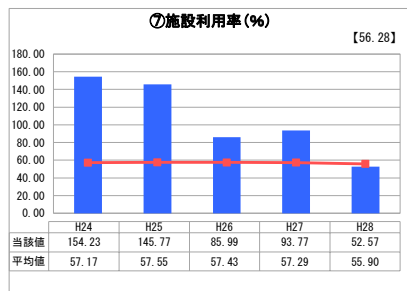
「債務残高」



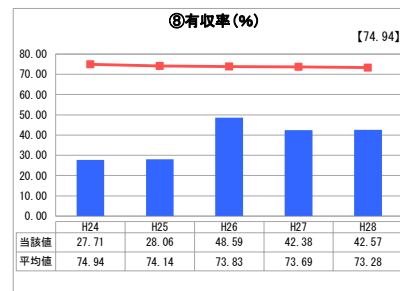
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

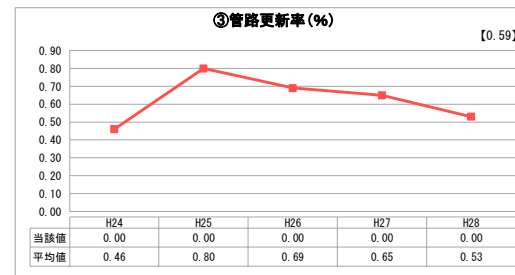
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

指標が100%以上であれば、単年度の収支が黒字であることを示す「収益的収支比率」は224%で前年度に比べ工事請負費が減少し、総収益が増加したことが要因です。企業債残高の規模を表す、「企業債残高対給水収益比率」については、0%で企業債残高はありません。また、施設利用率については施設の一日配水能力の数値を正しく訂正したため、下がっております。正しい数値に訂正した場合、H24の当該値は87.32%、H25が82.56%、H26が48.72%、H27が53.24%となり、H24、H25に関して施設利用率が高いのは、管路の漏水が続いたことによる配水量の増加があったことが考えられます。収益に関して数字を見ると健全であると判断されますが、有収率が低いことに関しては、水道施設や給水装置を通して給水される水量が収益に結びついていないため、埋設管での漏水が考えられます。現状、漏水による修繕工事が多発しているため、漏水調査を行い、早期発見・対応することで有収率の低下を防ぐことができ、効率性を改善できると考えられます。

### 2. 老朽化の状況について

事業開始からおよそ44年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、埋設管の漏水や設備の故障が頻繁に発生しています。そのため適切な施設更新を行っていく必要があると考えられますが、上水道への移行予定があるため、施設等の点検や修繕など適切な維持管理を行っていく予定です。

### 全体総括

現在収益に関して数字上は健全であると判断されますが、漏水や施設の故障が頻発しているため、施設等の老朽化が顕著に表れています。上水道への移行予定があるため、施設等の点検や修繕など適切な維持管理を行っていく予定です。移行までの間は財政的な負担の確保が課題であると考えられます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。